

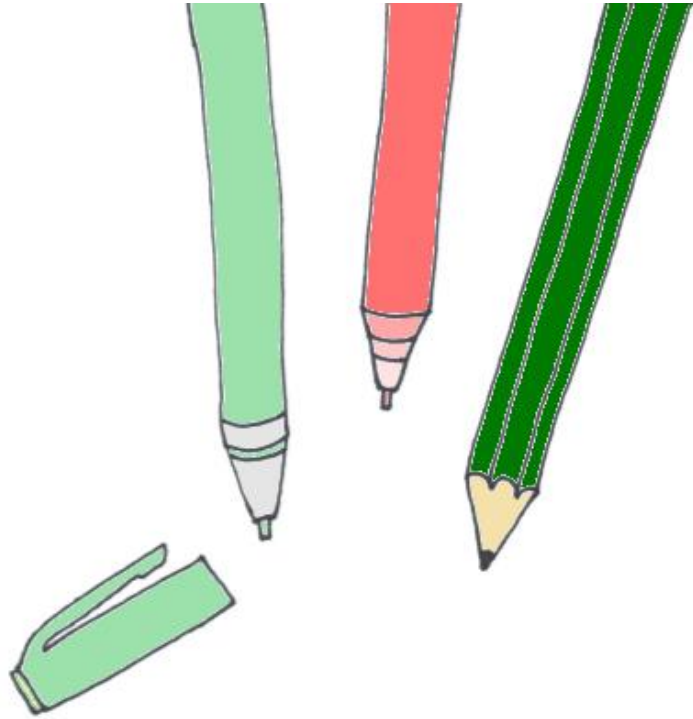
The Complete Guide to **SECOND EDITION**

English Writing

総合的な英語力アップへの近道！

ミツイ直子





The Complete Guide to English Writing: 総合的な英語力アップへの近道！

All rights reserved

Copyright © 2015, 2014 by Lang Leaves Education



Naoko
Mitsui

NOTICE: You DO NOT Have the Right to Reprint or Resell This eBook!

You also MAY NOT give away, sell or share the content herein.

All rights reserved. No part of this report may be reproduced or transmitted in any form whatsoever, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, or by any informational storage or retrieval system without the expressed written, dated and signed permission from the author.

著者の許可なしに複製、転写をすることを固く禁じます。

Acknowledgement

I would like to express my gratitude toward...

Dr. Jill Bergman

who taught me the beauty of the English Language

Mr. Tom Bateridge

who supported me to improve my own writing skills throughout my college years

Dr. Tully Thibau

who introduced me to the theoretical world of Teaching ESL/EFL

Dr. Barbara LeMaster

who demonstrated me how it is like to merely love languages

and

My Loving Husband and Two Beautiful Boys

who always provide me with support, trust, love and laughter

Introduction

「英語を学ぶためには、何からやれば良いの？」
そう悩み、途方にくれたことはありませんか？

皆さんが英語を学ぶ理由は様々だと思います。

「仕事で必要だから」
「海外旅行が好きだから」
「字幕なしで洋画を楽しみたいから」
「まだ学生で、英語の講義の単位が必要だから」
「留学をしたいから」
「世界規模で活躍したいから」

皆さんが目指す「このくらいの英語力を手に入れたい」という指標も様々だと思います。

「仕事で不自由しない程度の英語力は欲しい」
「英語ネイティブと対等に仕事出来るくらいにはなりたい」
「英語ネイティブと間違えられるくらいの英語力があると良いな」
「“英語ぺらぺら”になりたい」

実は、英語を学ぶ理由が何であれ、目標とする「英語のレベル」の指標がどのくらいであれ、英語を学ぶからには絶対に知っておくべき情報がいくつかあります。

それは「英語という言語の特徴」だったり「英語をアウトプット又はインプットする際に知っておくと得する情報」だったりするのですが…。

実は「ライティングの基礎」に、そういった情報がたくさーん詰まっているのです。

言い換えれば「英語を真剣に学ぶつもりであれば、ライティングの基礎知識を得るというのは必須事項」なのです！

ここに少し例をあげますね。

例えば、ライティングをおこなう際には必ず脳内を「英語的思考」に切り替えることが必要です。その「英語的思考」を把握出来ていると、ライティング以外のそれぞれのスキルにも以下のようなメリットがあります。

スピーキング

相手に分かりやすい
「英語的思考に沿った順序」で話が出来
るようになる。

↓

意思疎通がもっとス
ムーズになる！

リーディング

「英語的思考に沿った順序」での文章の展開法
（＝文章の構築法）を知っていれば、リーディン
グ内の大事なポイントを的確に押さえることが出
来る。そうすると「大切な箇所だけジックリと読
み、補助情報は流し読みをする」という判断が出
来るようになる。

↓

速読も可能になる！

リスニング

「英語的思考に沿った順序」を知れば、長いスピーチを聞いていても、迷わずキーポイントをおさえることが出来るようになる。

↓

リスニングの内容理解が上がる！ノートテイキングの上達にもつながる！

ここにあげたポイントはあくまでも一例で、他にも「英語学習の初期にライティングを学ぶこと」で、その後の英語学習や他分野（ライティング以外の分野）の学習に良い影響をもたらすポイントがあります。

例えば、ライティングの基礎を学ぶと、ショッピングリストを書く時にも携帯電話でメールを送る時にも役立ちます。友人に手紙を書く時、会社でEメールやレポートを書く時、学校で論文を書く時、それから TOEIC や TOEFL、英語検定試験の際にも（ライティングセクションのみでなく、全てのセクション対策として！）役立ちます。それから、英語ネイティブの友人に電話をする時やお医者さんとの予約を取る場合にも役立つんですよ！

もちろん、会社でのプレゼンテーションや結婚式で乾杯の音頭を取る時、そしてそういったスピーチを聞く時にも役立ちます。

つまり、ライティングの基礎というのは「英語を使う」限り絶対について回る必須知識であり、本来なら英語の学習はここから始めるべきなのです。

[illegible]

Contents

Acknowledgement	3
Introduction	4
Contents	9
Chapter 1: Converting your Japanese Brain into English Brain	12
Lesson 1 : 大事なことは最初にハッキリと伝える	13
Lesson 2 : 論理立てをしっかりとする	20
Lesson 3 : シンプルにまとめる	30
Lesson 4 : 英語脳にするための Best 訓練こそがライティング！	37
Chapter 2 Pre-Write 1: 右脳を使って「英語で書く」準備をしよう！	44
Lesson 1 : 左脳と右脳を賢く使う	45
Lesson 2 : 右脳を使え！自分に合った方法でアイデア出しをする	53
a. アイデア出しメソッド：フリーライティング法	55
b. アイデア出しメソッド：5 W 1 H 質問法	62
c. アイデア出しメソッド：クラスター＆ブランチ法	70
d. アイデア出しメソッド：キュービング法	82

Chapter 3	Pre-Write 2: 左脳を使って「英語で書く」準備をしよう！	94
	Lesson 1 : 左脳を使え！アイデアを木にまとめる	95
	Lesson 2 : 左脳を使え！小さい木の作り方	119
Chapter 4	Draft: 書く作業、開始です！	131
	Lesson 1 : Draft 前に！読者を第一に考える	132
	Lesson 2 : Draft 前に！目的達成を目指す	140
	Lesson 3 : Draft 前に！「私の主張！」は大丈夫？	149
	Lesson 4 : 最低限のルールを守って大胆に書く	160
	ちょっとストップ！！あなたは、きちんと英文を書けますか？	168
Chapter 5	Revise: ライティングを洗練させる見直し！	176
	Lesson 1 : 読者になって内容修正	177
	Lesson 2 : 文章はバラエティ満載に	207
	Lesson 3 : 上手な単語使いで Upgrade	220
Chapter 6	Proof-Read: ライティングを洗練させる校正！	237
	Lesson 1 : 校正記号を活用する	238
	Lesson 2 : 英語版句読点・パンクチュエーションを使いこなす	241
	Lesson 3 : 完璧を目指して最後の確認	257

Contents

Chapter 7 Publish: ライティングを発表！	275
Lesson 1 : Hand-Writing vs. Typing on a Computer	276
Lesson 2 : A Little Care for a Visual Structure	279
Lesson 3 : Writing をもとにした Presentation	286
Review of the s	293
Answer Keys	294
To English Learners	312
To English Educators	314
About the Author	316

Chapter 1: Converting your Japanese Brain into English Brain

英語ライティングをする際、鉛筆や紙を用意するよりも先にすることがあります。それは「日本語を使うときのいつもの脳から英語を使うときの脳に代える」こと。つまり「英語的思考」に切り替えることです。もちろん、この「英語的思考」はライティングのときだけでなくスピーキングやリーディング、リスニングといった他のスキルを用いて英語を使うときにも必須となります。いつもの「日本語脳」から「英語脳」にするにはどうすれば良いのか…。この章で押さえていきましょう。

Chapter Contents :

Lesson 1 : 大事なことは最初にハッキリと伝える

Lesson 2 : 論理立てをシッカリとする

Lesson 3 : シンプルにまとめる

Lesson 4 : 英語脳にするための Best 訓練こそがライティング！

Lesson 1 : 大事なことは最初にハッキリと伝える

以下の日本語の文と英語の文を読んでください。

どちらも「彼氏に浮気をされたから別れた」という内容の文章です。

「浮気をされた」「別れた」という情報は、それぞれの文章のどこに書かれているでしょうか？該当する部分を○で囲ってみてください。

聞いて～！彼氏の態度が最近どうもおかしくてさ。
やたらと携帯チェックするし、トイレにまで携帯持
って行くし。何か怪しいなあって思って彼氏の携帯
見たら、アイツ浮気してたんだよ！それも不倫。も
う超ショックで別れたよ～。

I broke up with my boyfriend since he cheated on
me! He was seeing this lady who has a family of
her own. I found that out when I saw his cell
phone. He was acting weird, like checking his cell
all the time and bringing it with him even to the
bathroom!

浮気をする = cheat on (人)

別れる = break up

では、次はもっとシンプルな文を見てみましょう。

次の日本語の文と英語の文で「否定」はどこに表れているのでしょうか？ 該当する部分を○で囲ってみてください。

この場合の日本語の否定は「～じゃない」、英語の否定は「don't」です。

俺、チョコって好きじゃないんだよね。

I don't like chocolate.

両方の例文の、日本語の文と英語の文の違いに気がつきましたか？

日本語の文では○が後ろの方にあり、英語の文では○が前の方にあります。

これは、日本語と英語のコミュニケーション方法が違うからなのです。

日本語

考えながら意思疎通ができる言語

意思疎通の基本的枠組み：起承転結

物事の流れに沿って説明していく

英語

考えてから意思疎通を図る言語

意思疎通の基本的枠組み：結論→説明

大事なポイントを先に伝える

「日本語脳」では

うーんと、あのね…

と、考えながら

小さい頃にミケ猫を飼ってたんだ
けど、私が中学にあがる前に死ん
じゃってさ。すごく悲しくて。

と、順を追って話を進め

だからもうペットは飼いたく
ないんだ。



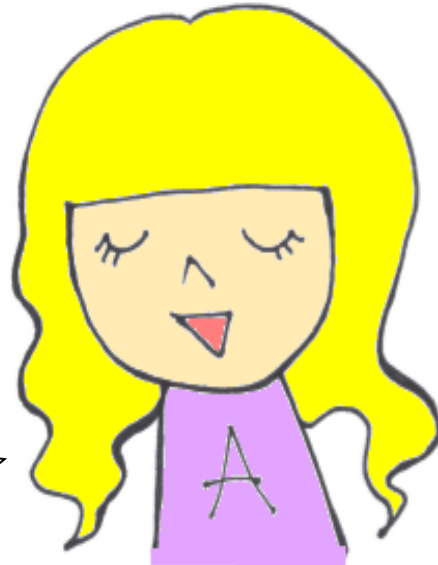
と、結論に行き着きます。

これが「英語脳」だと

ペット？私はいいや。

と、まず結論を伝えてから

小さい頃にミケ猫を飼ってたんだけど私
が中学にあがる前に死んじゃってさ。す
ごく悲しくて。もうああいう気持ちにな
るのが嫌だから。

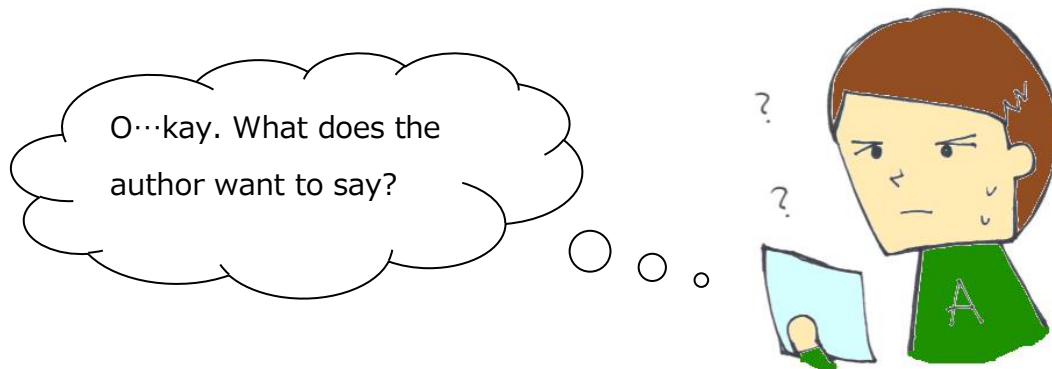


と、その理由をあげます。

「日本語脳」と「英語脳」では話の運び方が大きく違います。

どんなに正しい英文法で話したり書いたりしていても、この「英語ならではの」コミュニケーション法に従った流れで文章を進めていかなければ、上手く意思疎通が図れないこともあります。

例えば、「日本語ではごく自然な起承転結のパターン」で英作文を書いてしまうと、ネイティブスピーカーには「最初にくるべき結論」がないと思われてしまい、



と、思われ、作文の途中で読むのをやめられてしまうなんてこともあります！

最初にハッキリと大事なことを提示しておかないと、ネイティブスピーカー読者に「この作文には重要なポイントがない」と勘違いされてしまう可能性があるのです。

ですので、



**英語では「大事なことを
最初にハッキリと伝える」ことが重要。**

この点を押さえ、英語的思考すなわち「英語脳」に近づきましょう！

Lesson 1 練習問題

1) 以下の2つの文章のどちらが「英語的」でしょうか？

a. 昨日、母と出かけた時に、車椅子の人が階段を使えずに困っているのを見ました。私自身も、ハワイ旅行の帰りに重たいスーツケースを運ぶのが大変だった経験があります。最寄りの駅にエレベーターを設置してほしいと思います。

b. 最寄りの駅にエレベーターを設置してほしいと思います。昨日、母と出かけた時に、車椅子の人が階段を使えずに困っているのを見ました。私自身も、ハワイ旅行の帰りに重たいスーツケースを運ぶのが大変だった経験があります。

答え：_____

理由：_____

2) Aの答えとして、以下の2つの文章のどちらが「英語的」で適切でしょうか？

A: Michael, do you know any place where I can get Gluten-free sweets?

B: a: I do! This bakery has Gluten-free and Dairy-free cupcakes. The owner started the bakery since her own son was allergic to Gluten and Dairy. She believes that everyone deserves a special treat!

b: I do! This lady believes that everyone deserves a special treat! So she started the bakery also because her own son was allergic to Gluten and Dairy. They have Gluten-free and Dairy-free cupcakes.

答え: _____

理由: _____

3) 以下の文章を「英語的」順序に並べ替えなさい。

- a. 今朝は早く起きて芝生を刈り、買い物へ行きました。
- b. 夜遅く家に帰ると、母が帰宅していなかったので家族の食事を作りました。
- c. 今日は忙しかったです。
- d. 午後からは友達の引っ越しを手伝いに隣町へ行きました。

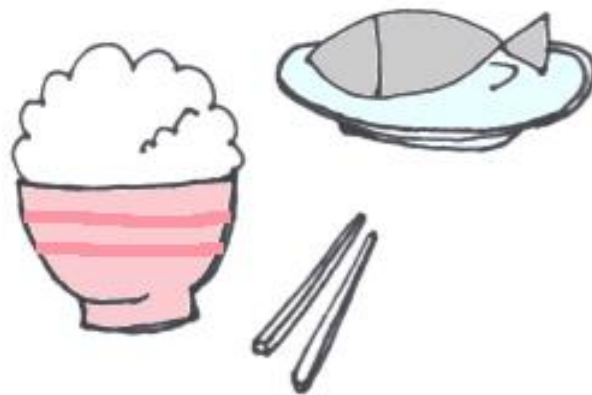
1. _____ → 2. _____ → 3. _____ → 4. _____

4) 以下の文章を「英語的」順序に並べ替えなさい。

- a. It has twelve credit cards slots.
- b. This is my favorite wallet.
- c. I also like the interior color.

1. _____ → 2. _____ → 3. _____ .

5) 「英語的」順序で「好きな食べ物」について書きなさい。英語でも日本語でもかまいません。



答えは 294 ページで確認出来ます。

Lesson 2 論理立てをシッカリとする

「英語脳」の2つ目の条件として大事なことは、日本人が特に苦手な「論理立てをシッカリとする」ということです。

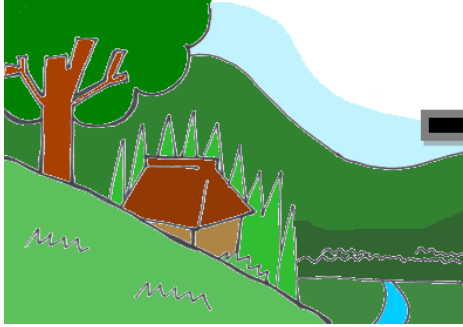
もともと移民の少なかった日本では、昔から「他人と感覚を共有する」ことが生活の一部とされてきました。「一を聞いて十を知る」ということわざがあるように、すべてを言葉で説明されなくても、この「共感力」で相手の心情や欲求を推し量ることができるのです。語られていない状況を察することを「空気を読む」と表現するのも、この「共感力」の表れですね。

でも、それはあくまでも「日本で育った日本人同士の間」でのこと。

育った文化や環境が違っていると、同じ物事を目にしても「注目する対象物」も「それを捉える視点」さえも異なるのです。

例えば、松尾芭蕉の「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」という俳句があります。これを、日本人そして世界の人達はどう捉えるのでしょうか？

日本人の場合は…、



夏の蒸し暑い日。おそらく田舎のような緑の多い場所で蝉の声以外は聞こえないほど、静かにそして穏やかに流れている空間を思い浮かべるでしょう。



そして、その蝉の声を心にしみ込ませるように、話者がゆったりとした時間を堪能している様子を思い浮かべ、そこに美しさを感じるかもしれません。

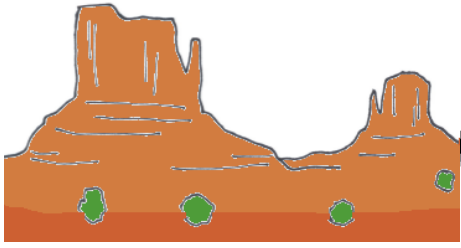
例えば、その蝉の止まっている場所や岩の形、蝉が話者のすぐ近くで鳴いているのか遠くからその声が聞こえてくるのか…などの「思い浮かべる情景の詳細」の個人差はあるでしょうが、同じようなものを思い浮かべることが出来ます。

蝉といったら夏。日本の夏といったら蒸し暑い。

その両方を堪能出来る情景というのはどういうものか…。

こうして「同じようなもの」を思い浮かべることが出来るからこそ、日本では少ない文字数で情景や気持ちを綴る「俳句」や「短歌」を楽しむことが出来るのです。

一方、**他の国の人達の場合**はどうでしょうか。

 岩といっても砂漠や乾燥地帯に見られるような岩を想像するかもしれません。蟬の鳴き声といってもやたらとうるさ過ぎるものを想像するかもしれません。	 穏やかな気持ちで蟬の鳴き声を聞いている話者の心情を察するのではなく、蟬の鳴き声にイライラしている話者を思い浮かべてしまう人もいるかもしれません。
---	--

このように、育った文化や環境が違っていると「物事の捉え方」も「注目する対象物」も異なる可能性があるのです。

英語を話して相手にするのは、日本国内に住む日本人だけではなく世界中の人々。世界には多民族・多文化が混在しています。その中で、どの国のどんな文化で育った人が読んでも理解・納得できるような文章を書かなければいけません。

それにはどうすればいいのかと言うと…、



論理立てをしっかりとする。

論理立てをしっかりとさせる英語脳にして、文章を書いていくのです。

1 + 1 = 2 が世界共通のように、どこの国のどんな文化で育った人にも

柔らかいバナナは熟している。

↓

熟しているバナナは甘い。

↓

このバナナは柔らかくない。

↓

おそらく、このバナナは熟していない。

↓

よって、このバナナは甘くないだろう。



というような論理的思考は共通して受け入れられます。

日本語でここまで詳しく説明していると、何だか読者をバカにしているようにも捉えられそうですよね。でも、いろいろな国や文化で育った世界中の人を相手にする英語では、ここまでハッキリ説明しないとミスコミュニケーションを引き起こしてしまうこともあり得るのです。

「何となく分かってくれるだろう、という考えは通用しない」ということを覚えておきましょう。

Lesson 2 練習問題

1) 各文を読んで、下線部に適切な論理的理由を書き入れなさい。

a. 私はダイエット中なのでチーズケーキを食べません。

チーズケーキは_____だからです。

b. 父の仕事の都合で引っ越すことになりました。僕は引っ越したくないのですが仕方ないです。僕は_____ので、一人で生活できないからです。

c. 現在の目標はTOEICで高得点をとることです。

なぜかと言うと、_____だからです。

d. 将来_____をしたいので、英語を話せるようになりたいです。

2) 各文を読んで、下線部に適切な論理的理由を書き入れなさい。

a. I like visiting Japan because people there are_____.

b. Please put all the clothes into the dryer as soon as possible. Otherwise, they will_____.

c. I can't thank you enough for everything you did. I live alone and have no _____.

d. I love singing songs because _____.

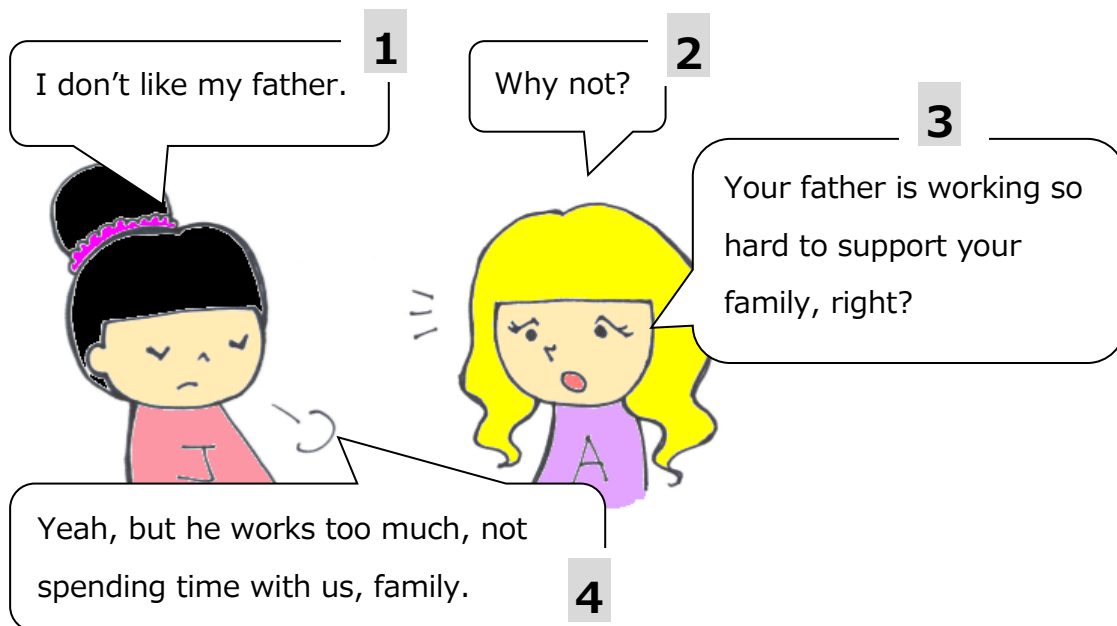
3) 下線部 a-d に単語や文章を自由に書き入れなさい。ただし b-d には読む人が納得できるような理由を書き入れ、「英語的」な文章にきなさい。

私は季節の中で a : _____ が一番好きです。

b : _____ 、 c : _____ 、

d : _____ だからです。

4) 以下のやりとりを見なさい。



父親が好きでないという女の子。この女の子は仕事ばかりしていて家族に関心を示さず、あまり家にいない父親が嫌いだそうです。このことを会話の相手に英語的文章で伝えなさい。日本語でも構わないので、論理的に理由説明をしなさい。



答えは 295 ページ～確認出来ます。

コラム 「論理立てるってどういうこと？」

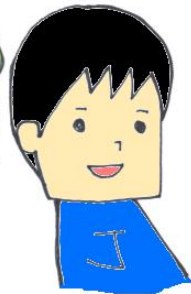
論理立てるってどういうことでしょうか？

論理立てるというのは、結論にどう辿り着いたかを示すことです。

アメリカに留学中の男の子と現地に住んでいる男の子の会話を見ましよう。

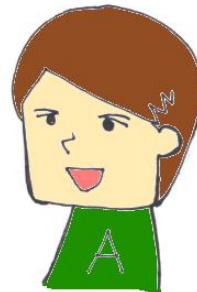
1

Oh, I have to get gas for my car.



Then I will get an ice cream.

2



What? An ice cream?

3

留学生の男の子が「車にガソリンを入れる」と言ったら、ネイティブの男の子がアイスクリームを買い出ししました。ガソリンとアイスクリームの関連性が見えない留学生は、そのネイティブの言葉に驚いています。

このアメリカに住む男の子は…

車のガソリンがない。

→ガソリンスタンドに行く。

→アメリカのガソリンスタンドには大抵コンビニが併設されている。

→ コンビニがあるならアイスクリームを買おう。

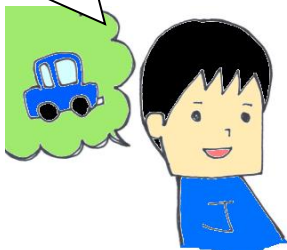
という思考プロセスによって、留学生の「車にガソリンを入れる」という受け答えに「アイスクリームを買おう」という結論に至ったのです。

結論にどう辿り着いたのかの説明を一言添えてあげれば、問題なく相手に伝わります。この「結論にどう辿り着いたか、その過程を説明する」ことを論理立てると言います。

この留学生とネイティブの会話の場合、アメリカに住む男の子からこんな補足説明があったら良かったのでしょうね。

1

Oh, I have to get gas for my car.



2

Then, let's go to a gas station.



4 Which gas station should I go?

3 I'll get an ice cream over there. You know, they usually have a convenience store.

5 Any gas station is okay. Oh, but not the one on Crenshaw Blvd. Their convenience store is way too small to have ice creams.

「論理的思考をする」ということは、相手に自分の思考を理解してもらうためには必ず必要なことです。

実際に面と向かい合って話しているのであれば、多少「論理的思考」が欠けていてもお互いに「それってどういうこと?」「どうして?」と質問しあうことが出来ますが、読者がライティングを読むときに常に必ず著者がその場にいるとは限りません。ですので読者が疑問に思う点を残さないよう、しっかりと「論理的思考」に沿った書き方をすることが大事なのです。

Lesson 3 シンプルにまとめる

最後の「英語脳」の条件は、英語が出来るようになればなるほど失敗しやすいことです。

英語が上達すると、



と思い、わざわざ複雑な構文をおりこんだ英語を使ってしまうことが多いのですが、大事なのは「話の内容が正しく伝わるか」ということで「どれだけの英語力をひけらかすか」ではありません。シンプルに伝えられることをわざわざ複雑な文章で表現してしまうと、多くの場合は単に伝わりにくい文章となってしまう、読み手を混乱させてしまいます。

大抵、日本語の文章では単純な文は避けられる傾向にあります。難しい漢字や複雑な言い回しを使うと「あ、この人はこんな難しい漢字を知っているんだ」とか「頭がいいな」と思われたりします。

でも、英語の文章では違います！



**英語では常に文章や説明を
「シンプルにする」ことが大事。**

英語の文章では、読者が分からない単語や言い回しを使わないことが「親切」なのです。常に読者の立場に立って考えることが重要視されているので、シンプルに伝えられることをダラダラと書き綴るのは不親切極まりないこと。相手の時間を無駄にってしまうわけです。ですので、英語では出来るだけ「シンプルさ」を求めるのが必須です。

では、どうやったらシンプルな文章や説明を書けるのかをみていきましょう。

シンプルな文章や説明では…

3 NGs!

不必要な単語使用や説明は NG !

ダラダラと長ったらしいのは NG !

簡単に言えることを、かっこつけて難しい表現にするのは NG !

例えば以下の英語の文はもっとシンプルに直すことができます。

不必要な言葉や説明は NG ! 例 :

Mr. Smith is a man who teaches Science.

Mr.という敬称を使用することで Smith さんが男性ということは伝わっています。わざわざ Mr. Smith is a man という必要はありません。

→ Mr. Smith teaches Science.

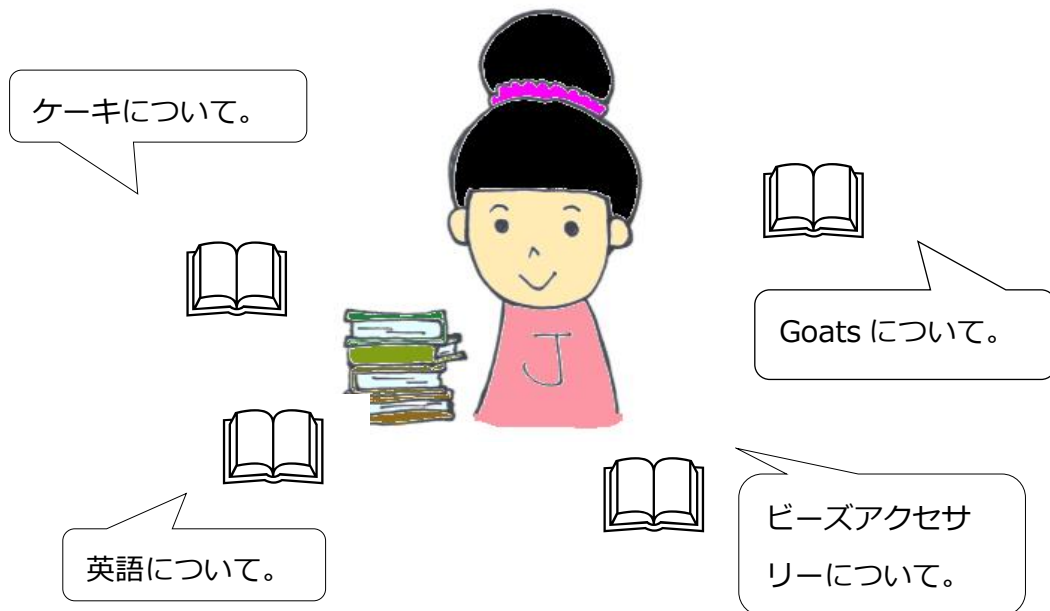
Lisa works for a company which makes computers.

わざわざ関係代名詞を使用しなくても同じことが伝えられます。

→ Lisa works for a computer company.

ダラダラと長ったらしいのは NG！例：

She is reading some books and one of them is about goats.



わざわざ「何冊かの本を読んでいます。そのうちの一冊が Goats についてです。」と言わず、最初から「読んでいる本のうちの一冊は Goats についてです。」と言えそうです。

→ One of the books which she is reading is about goats.

簡単に言えることを、かっこつけて難しい表現にするのは NG！例：

The point that I am trying to make is that the policy needs to be changed.

もちろん間違っていないです。でも、最初の “The point that I am trying to make is that” を省略してしまって OK。その方が聞き手、読み手にとって分かりやすいです。

→ The policy needs to be changed.

What makes me angry is that they behave childishly.

わざわざ What makes me angry is …と言わずに、… makes me angry と言えば文章がスッキリします。もちろんこの What makes me angry is …という構文を使うのがベストな時もありますが、この場合はもっとスッキリとさせることができます。

→ Their childish behaviors make me angry.

英語では「文や説明がシンプル」だからといって「英語力が乏しい」と思われるわけではありません。逆に、相手にとって分かりやすいシンプルさを選択出来る人こそが重宝されます。そのことを忘れないようにしましょう。

Lesson 3 練習問題

1) 以下のフレーズをシンプルにしてください。

a. 3 am in the morning

シンプルな単語 : _____

b. free gift

シンプルな単語 : _____

c. new innovation

シンプルな単語 : _____

d. a person who is honest

シンプルな単語 : _____

2) 以下の文章をシンプルにしてください。

a. Amanda can't buy the expensive shoes because their price is high.

シンプルな英文 : _____

- b. Brian has video games and he does not like some of them.

シンプルな英文 : _____

- c. There are thirty students in the classroom. Three of them didn't do their homework.

シンプルな英文 : _____

- d. She is the person who we all like.

シンプルな英文 : _____

- e. Asking Emily to cook dinner is not something Ryan would do.

シンプルな英文 : _____

答えは 296 ページ～確認出来ます。

コラム 英文は「KISS」と「Sweet & Simple」！

「KISS」と「Sweet and Simple」って聞いたことがありますか？

「KISS」とは「Keep It Simple, Stupid. (ば〜か、シンプルにしとけよ)」というメッセージの頭文字をとったもの。

「Sweet and Simple」は「英文はスイートに、そしてシンプルに」という意味の言葉。

英語の文章はシンプルが基本！という考えが根底にあることが分かります。ライティングをおこなうときには、どちらも心に留めておいてください。

Lesson 4 英語脳にするための Best 訓練こそがライティング！

さて、ここまで見てきた「英語脳」の特徴。これらをモノにするためには訓練が必要です。具体的に、どんな訓練が必要となるのでしょうか？

答えは、この本のメインテーマでもあるライティングです！！

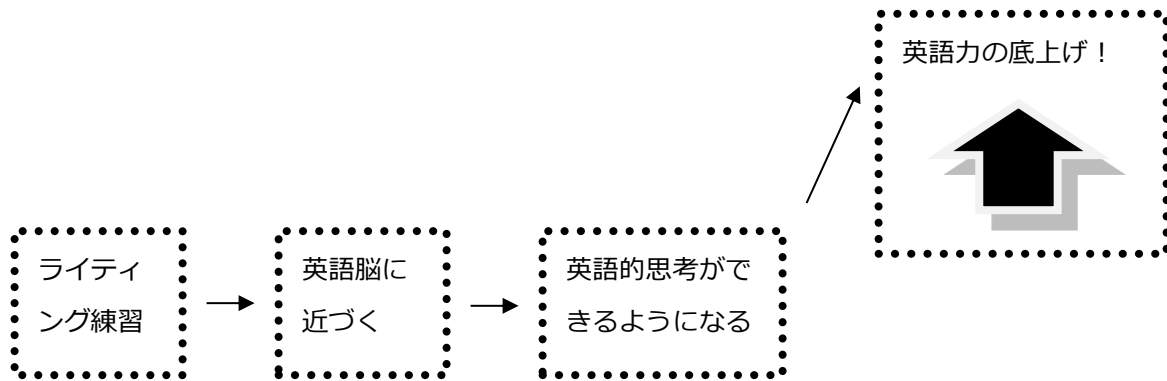
実は、ライティングを行う際の手順にはここまで見てきた「英語脳」の特徴がギッシリと詰まっています。

ライティングは以下の5つのステージで行われるのですが、このステージ中に「英語脳」の特徴が詰まっているのです！

- 1 : Pre-Write (書く内容決め)
- 2 : Draft (下書き)
- 3 : Revising (内容の書き直し)
- 4 : Proof-Reading (文法やスペルなどの間違い直し)
- 5 : Publishing (ライティング終了後に発表または提出)

つまりライティングの練習をすることこそが「英語脳」をモノにする訓練となるのです。

「英語脳」をモノにすることが出来るということは「英語的思考」が出来るようになるということ！「英語的思考」が出来るうえでの英語学習は、スピーキングやリーディング、リスニングといった他分野の英語力の底上げにもつながります。



では、どのように「英語脳」の特徴が詰まっているのか、ライティングの手順を追ってみていきましょう。

ライティングの5つのステージでは以下のことを行います。

1 : Pre-Write (書く内容決め)

- * 題材を決める。
- * 題材について知っておくべきことをリサーチする。
- * 詳細をリストにする。



ここで論理立て
をシッカリ！

この Pre-Write で作文の質が決まってしまいます！

ここをとばしていきなり文章を書き始めるのは絶対に駄目！

2 : Draft (下書き)

- * リストに基づき、文章を書いていく。



大事なことは最初にハッキリと！

この段階で文法やスペルの間違いは（あまり）気にしなくて大丈夫。
とにかく書いていくことが大事！

3 : Revising (修正)

- * 下書きを直す。

- * 必要があれば段落や文章の順番をもアレンジし直す。

- * Pre-Write のリストと関係のないことは省く。



シンプルにまとめていきます！！

先生になったつもりで自分の書いたライティングをチェック！先生や友達に見てもらうのも Good。

4 : Proof-Reading

＊ 文法やスペルの間違いなどの細かい点を直す。



ここで初めて文法確認やスペルチェックを行います。

TOEIC、TOEFL、英検などのライティング試験でもきちんと文法を確認するのはこのステージでのみ！

5 : Publishing

＊ ライティングの発表準備
(ライティングの提出/プレゼンテーション)



発表形式に合わせてライティングを終わらせる準備をします。単に作文として提出するのであれば手書きで良いのか、コンピューターでタイプをするのか…。それぞれ従うべきフォーマットに合わせる必要があります。

ライティングで書いた内容をプレゼンテーションで発表するのであればプレゼンテーションの準備をしましょう。

読者に伝える準備（正しい発表形式にすること）こそがライティング最後のステージ。書いて終わり…ではないのです！！

一見やるのがたくさんあるように思えますが、慣れてしまえば全てを英検や TOEIC、TOEFL などのライティング試験中に行なえるようになります。。

むしろ、ライティングの試験も含め、何か文字を使っての意思の伝達を図るときには常にこの5つのステップを意識していくことが必要です。

スピーキング、リーディングやリスニングなどの他分野のスキル向上にも良い影響を与え、更には「英語的思考」の練習にもなるライティング。次章からは実際に5つのライティングステージを詳しく学び、ライティングの基礎力を作り上げてしまいましょう。

コラム ライティングの5つのステージ例

1 : Pre-Write : まずは書く内容をリストアップします。論理的な順番に並べていくことも忘れずに！

People should come to Long Beach, CA.

Good weather

Fun attractions

2 : Draft : リストに沿って、実際に文章として書き出します。

Long Beach, CA is a great place to visit. Its nice waether are attractive to anyone. Various fun attractions are there. Queen Mary and Aquarium of the Pacific are popular. Also we have a cruise to Catalina Island. I hope you can come to Long Beach, CA!

3 : Revising : 書いた文章の手直しをします。

Long Beach, CA is a great place to visit. Its nice waether are attractive to anyone. Various fun attractions ~~are there~~. Queen Mary and Aquarium of the Pacific are ~~popular~~. Also ~~we have a cruise to Catalina Island~~. I hope you can come to Long Beach, CA!

cruises are available to take you
to other attractive destinations
like Puerto Vallarta.

available

4 : Proof-Reading : 文法直しやスペルチェックをします。

Long Beach, CA is a great place to visit. Its nice ~~wæ~~ether **weather**
~~are~~ **is** attractive to anyone. Various fun attractions such as Queen
Mary and Aquarium of Pacific are available. Also, cruises are
available to take you to other destinations like Puerto Vallarta. I
hope you can come to Long Beach, CA!

5 : Publishing : ここでは清書をしてお終い！

Long Beach, CA is a great place to visit. Its nice weather is
attractive to anyone. Various fun attractions such as Queen Mary
and Aquarium of Pacific are available. Also, cruises are available to
take you to other destinations like Puerto Vallarta. I hope you can
come to Long Beach, CA!



To English Learners

英語を学習中の皆さんへ…。

ライティングスキルというのは、英語圏では学歴と同じくらい重要視されていて、「ライティングを読んだだけで、その人がどのくらい仕事ができるか」という判断材料になるほど重要です。

それにも関わらず、残念ながら、現在の日本の英語学習においてライティングは軽視されています。ライティングは「今すぐ必要ない」と思われたり「それより直接英語ネイティブと話せるほうが楽しい」といった理由で、ついつい後回しにされてしまいがちです。そしてそれ故に日本人英語学習者の英語力上達に時間がかかってしまっているのです。

「The Complete Guide to English Writing: 総合的な英語力アップへの近道！」でご紹介させて頂いた内容は、皆さんのライティングスキル、そして英語力の基盤となります。本書でご紹介させて頂いたライティングの基礎情報（＝英語を学ぶからには知っておくべき情報）は皆さんの英語アウトプットにも英語インプットにも活用出来るもので、そこが押さえられているかどうかで今後の皆さんの英語力の伸びに差が出てきます。

本書を通して、少しでも多くの方がライティングスキルの重要性に気付き、英語本来の基礎情報を吸収出来るよう、出来るだけシンプルにまとめあげました。

一見「こんなにたくさんしたこと…！」と思ってしまうかもしれませんが、何度も繰り返し練習を重ねると、本書に書かれている全てのことが短時間でおこなえるようになります。賢い英語ネイティブは、たった一つの英文を書く時にも、本書でご紹介しましたポイントを全て

自動的に脳内で押さえているのです。英語ネイティブでない私達も、練習次第でそれが出来るようになります。

まずは書かれていることを全て、素直に実践してみてください。

ほとんどのレッスン後には、レッスン内容の理解を確認するために練習問題を設けています。解答や説明も付いていますので、ご自身で取り組んでください。

ライティングスキルというのは英語力の中でも特殊で、「ライティング」を学ばないと絶対に身につかないスキルです。私ミツイは、本書を使用した英語ライティング基礎講座を始め、多種多様な講座をご提供しています。こちらからご覧ください。

<https://naokomitsui.com/>

また、ライティングスキル上達のために独学をされる方は、本書 Chapter 4-2 を参考にしてください。また、私ミツイのブログでもライティング学習に関する情報を随時ご紹介させて頂いていますので、よろしかったらご覧ください。 <http://ameblo.jp/tamura-mitsui/>

では、これからも楽しい英語学習を続けてくださいね。

Happy Learning! ☺

ミツイ 直子

To English Educators

英語を教えている皆さんへ…。

ライティングスキルはありますか？

ライティングスキルがある！と断言出来ない方は、本書の練習問題を全ておこなってください。そしてそこから日常的にライティングをおこなえる、ご自身ならではの学習法を考え実行してください。ライティングに限ったことではありませんが、継続的におこなわないと伸びませんし、一度得たスキルも使わなかったらすぐに落ちてしまいます。ライティングスキル上達を図るには日常的なリーディングも必須です。洋書を多読、精読するようにしてください。

既に一定以上のライティングスキルをお持ちの方は、本書を復習のための教材としてお使いください。ご自身のライティング経験と本書の内容、そしていかに「ライティングスキルを向上させることが英語力全体の向上につながるか」を多くの生徒さんにお伝えください。

確固たる英語力を持つ英語講師は口を揃えてライティングスキルの重要性を語ります。

ライティングを軸にして英語を教えるというのは、とても親切な英語の教え方です。時間をかけて丁寧なアウトプットが出来る…。他人の「上手な英語」を最大限に参考にすることが出来る…。自分の間違いを直す機会がある…。慣れた英語表現を使うことも出来るし、新しく出会った英語表現を使ってみることも出来る…。何度も何度も手直しを重ねて、英語で表現したい一つの事柄に対してジックリと向き合うことが出来る…。こんな経験

が出来るのは英語学習においてライティングのみです。

そして本書冒頭でも触れましたが、ライティングの基礎情報というのは「英語を学ぶからには知っておくべき情報」であり、それはスピーキング、リスニング、リーディングにも応用出来ます。そんな大事でお得な情報を生徒さんに伝えない理由がありませんよね。

本来でしたら、ライティングスキルが十分にある英語講師さんのみにライティングを教えて頂きたいのですが（そのくらい大事なスキルですので）、生徒さんと一緒に成長していく…というスタイルもとても素敵だと思います。でもそれを実践するには、何よりも英語講師の皆さんが「英語学習においてのライティングの大切さ」を知っていなければいけませんし、何よりも皆さんがライティングスキル上達のために努力を重ねていないといけません。

今までライティングについてあまり考えたことのなかった方には、本書は新しい英語の世界を垣間見る良い機会になったかと思います。是非これを機に、ライティングのあり方について考えてみてください。そして、どうやって皆さんの英語レッスンに「ライティング」と取り入れられるかも工夫を凝らしてみてください。

ライティングの基礎なしに、スピーキングもリーディングもリスニングもあり得ません。

では、これからも楽しい英語教育を続けてくださいね。

Happy Teaching! ☺

ミツイ 直子

About the Author

2001年に単身渡米。

The University of Montana にて英語学専攻（言語学専門）、コミュニケーションスタディーズ副専攻。全世界認定の英語講師資格をも取得。言語と文化の関係性の強さを感じ、その後はより良い英語教育を追求する為、California State University, Long Beach に進学、修士号を取得。専門分野は社会言語学と人類言語学。

大学時代から様々な局面で英語教育に携わる。主な仕事は長期・短期留学プログラムマネージャー、英語講師、英語教材研究・開発ディレクター、英語教材翻訳ディレクター他。また米国大学留学見込み者に、米国大学で必要とされる知識・勉強法をも教えてきた。英語教育以外にもフリーランス翻訳者（英訳専門、ジャンル問わず）としての経験も持つ。

現在はカリフォルニア州にて二人の息子の子育ての傍ら、スカイプを使用し日本・アメリカ各地の英語学習者をサポートしている。

提案している英語指導においては、言葉の性質をよく理解し、今までの英語教育界で（全く！）重要視されていなかった社会言語学や人類言語学的観点を取り入れ、言語使用の際に関わってくる文化や社会的背景の繊細な情報をも織り込んだ「より豊かな英語学習」を提供することを目標としている。また認知言語学をベースにすることで、これまでの英語教育によって英語苦手意識を抱えてしまった人でも楽しく英語ネイティブの感覚で英語を学んでいくことを可能としている。

Website: <https://naokomitsui.com/>

Blog: <http://ameblo.jp/tamura-mitsui/>